

# 道の駅「季楽里あさひ」 一周年に思う

市長 明智 忠直



昨年10月17日にオープンした道の駅「季楽里あさひ」が開業一周年を迎え、記念のイベントが行われました。千葉県一の農業算出額を誇る旭市に道の駅を造ろうと、5年にわたる検討と、市民の合意を重ね開業し、おかげさまでこの日を迎えることができました。

季楽里あさひは、旭市産の農畜水産物や加工品などのPR拠点、観光・交流の拠点、雇用創出、道路利用者の利便性の向上、災害時の緊急避難場所など、数多くの役割を担っております。採算性も非常に重要であり、黒字経営は必須なところですが、一年間の実績では、6億円を超える売り上げで黒字が見込まれます。

観光の面からは、飯岡刑部岬や大原幽学遺跡史跡公園などの来場者、そしてサーファーや海水浴場への来訪者、宿泊客とさまざまな形の連携が進んでいます。交流の面では、年間116万人を越える来場者がある中、イベント・芝生広場、情報発信スペース、レストランなども、十分目的を満たしています。雇用創出面では、常勤やパート、テナント店を含め、50人余りの雇用につながりました。道路利用者も清潔で花いっぱい施設に大変好感を持たれており、休憩場所としても利用しやすいと好評です。いつ起こるか分からない災害にも、広いスペースや道の駅の物品は必要不可欠の要素であります。

これからも一層「高み」を目指し、市民やお客様の意見を反映して、より利用しやすい「駅」にしていかねばと思うところです。



## 市図書館だより

開館時間／火～金曜日…午前9時～午後6時

土・日曜日…午前9時～午後5時

今月の休館日／3日(木・祝)、17日(木)、23日(水・祝)

岡市図書館(☎62-2560) <http://www.library-asahi-chiba.jp/>

### 今月のおすすめ

#### 「よっつ屋根の下」



大崎梢 著  
(光文社)

父の転勤で犬吠へ引っ越したばかり、東京に残った母と妹。親子それぞれの視点で描かれる、家族再生の物語です。

#### 「I love letter」



あさのあつこ 著  
(文藝春秋)

文通会社で働く元引きこもりの岳彦に届くのは、訳ありの手紙ばかり。文通ならではの交流が、岳彦自身も変えてゆきます。

### 新着図書

- |                      |                          |
|----------------------|--------------------------|
| ● 禅と掃除 (杵野俊明)        | ● 光炎の人 上・下 (木内昇)         |
| ● 昭和からの伝言 (加藤廣)      | ● 揺らぐ街 (熊谷達也)            |
| ● 文学部で読む日本国憲法 (長谷川權) | ● 40歳の言いわけ (斉木香津)        |
| ● ザ・パーフェクト (土屋健)     | ● 刑罰0号 (西條奈加)            |
| ● 漂流 (角幡唯介)          | ● 女子的生活 (坂木司)            |
| ● 民泊ビジネス (牧野知弘)      | ● 罪の声 (塩田武士)             |
| ● 字を書く女 (酒井順子)       | ● 龍宮の鍵 (田中経一)            |
| ● 何様 (朝井リョウ)         | ● 狩りの時代 (津島佑子)           |
| ● ブルーネス (伊与原新)       | ● 教室の灯りは謎の色 (水生大海)       |
| ● 7デイズ (五十嵐貴久)       | ● ワイルドフラワーの見えない一年 (松田青子) |
| ● 月兎耳の家 (稲葉真弓)       | ● みかづき (森絵都)             |
| ● 天下を計る (岩井三四二)      | ● 信長さまはもういない(谷津矢車)       |
| ● ゆけ、おりょう (門井慶喜)     | ● 柳屋商店開店中 (柳京司)          |

### おはなしの時間

幼児向きの絵本の読み聞かせ

日時／11月10日(木)、24日(木)

午後4時30分～5時

場所／市民会館